

# 試験結果報告書

製品名：ハイモルマックス#40

試験名称：JIS A 6916:2014 建築用下地調整塗材 (GM-2)

2023年 1月 1日

株式会社  レゾナック 建材

品質保証グループ

## 1. 試験目的

ハイモルマックス#40における、「JIS A 6916:2014 建築用下地調整塗材 (CM-2)」の性能適合性の確認を行う。

## 2. 試験内容

「JIS A 6916:2014 建築用下地調整塗材 (CM-2)」に定められた試験方法により下記項目の試験を行った。

- ① 軟度変化試験
- ② 耐ひび割れ試験
- ③ 耐衝撃性試験
- ④ 曲げ強さ試験
- ⑤ 圧縮強さ試験
- ⑥ 付着強さ試験（標準養生、低温養生）
- ⑦ 吸水試験
- ⑧ 透水試験
- ⑨ 長さ変化試験
- ⑩ 仕上げ材が複層仕上塗材の場合の耐久性試験
- ⑪ 仕上げ材がセラミックタイルの場合の耐久性試験

## 3. 商品名・種類及び使用方法

表-1. 商品名及び調合

商品名		ハイモルマックス#40
種類		セメント系下地調整厚塗材 2 種 下地調整塗材 CM-2
正味質量	粉体	25kg/袋
使用方法	基本調合	粉体:水=25kg : 5.5kg
	標準加水量	5.5/25kg(粉体)
	標準塗面積	約 2.1m <sup>2</sup> /袋(塗厚 10mm)
	標準塗厚	3~10mm
	可使時間	約 1 時間

## 4. 試験条件

## ① 試験室及び養生室の状態

表-2. 試験室及び養生室の状態

	温度(°C)	湿度(%)
試験室	20±5	65±20
一般養生室	20±2	65±10
湿空養生室		80以上

## ② 調合及び塗厚

表-3. 調合及び塗厚

調 合	粉体：水=1500g：330g
塗 厚	10mm

## ③ 付着強さ試験用基板の表面処理方法

プライマー(ハイデルマシオンEV-300)の5倍液(プライマー：清水=1:4)を刷毛で1回(150g/m<sup>2</sup>)塗布し、皮膜が乾燥するまで静置する。

## 5. 試験結果

## ① 軟度変化試験

軟度変化試験の結果を、表-4に示す。

表-4. 軟度変化試験結果

	フロー値		軟度変化 (%)
	初期	60分静置後	
1	148	151	-2.0
2	148	150	-1.4
平均	—	—	-1.7

## ② 耐ひび割れ試験

耐ひび割れ試験の結果を、表-5 に示す。

表-5. 耐ひび割れ試験結果

番号	試験結果
1	ひびわれの発生は認められなかった
2	ひびわれの発生は認められなかった
3	ひびわれの発生は認められなかった

## ③ 耐衝撃性試験

耐衝撃性試験の結果を、表-6 に示す。

表-6. 耐衝撃性試験結果

番号	試験結果
1	ひびわれ及び剥がれの発生は認められなかった
2	ひびわれ及び剥がれの発生は認められなかった
3	ひびわれ及び剥がれの発生は認められなかった

## ④ 曲げ強さ試験

曲げ強さ試験の結果を、表-7 に示す。

表-7. 曲げ強さ試験結果

番号	曲げ強さ (N/mm <sup>2</sup> )
1	7.5
2	7.3
3	6.5
平均	7.1

## ⑤ 圧縮強さ試験

圧縮強さ試験の結果を、表-8 に示す。

表-8. 圧縮強さ試験結果

番号	圧縮強さ (N/mm <sup>2</sup> )	
1	20.0	22.3
2	20.0	20.9
3	20.9	22.8
平均	21.2	

## ⑥ 付着強さ試験（標準養生、低温養生）

付着強さ試験（標準養生、低温養生）の結果を、表-9 に示す。

表-9. 付着強さ試験（標準養生、低温養生）結果

番号	標準養生		低温養生	
	付着強さ (N/mm <sup>2</sup> )	破断位置	付着強さ (N/mm <sup>2</sup> )	破断位置
1	1.7	下地調整塗材	1.3	下地調整塗材
2	1.7	下地調整塗材	1.4	下地調整塗材
3	1.4	下地調整塗材	1.4	下地調整塗材
平均	1.6		1.4	

## ⑦ 吸水試験

吸水試験の結果を、表-10 に示す。

表-10. 吸水試験結果

番号	吸水前の質量 (g)	吸水後の質量 (g)	吸水量 (g)
1	296.71	297.51	0.80
2	296.72	297.48	0.76
3	307.18	307.85	0.67
平均	-	-	0.7

## ⑧ 透水試験

透水試験の結果を、表-11 に示す。

表-11. 透水試験結果

番号	透水量 (mL/h)
1	0.00
2	0.05
3	0.00
平均	0.0

## ⑨ 長さ変化試験

長さ変化試験の結果を、表-12 に示す。

表-12. 長さ変化試験結果

番号	長さ変化率 (%)
1	-0.125
2	-0.115
3	-0.135
平均	-0.13

## ⑩ 仕上げ材が複層仕上塗材の場合の耐久性試験

仕上材が複層仕上塗材の場合の耐久性試験の結果を表-13 に示す。

表-13. 仕上材が複層仕上塗材の場合の耐久性試験結果

	温冷 10 サイクル後の 表面状態	付着強さ (N/mm <sup>2</sup> )	破断位置
1	割れ、膨れ及び剥がれは認められなかった	1.3	仕上材
2	割れ、膨れ及び剥がれは認められなかった	1.3	下地調整塗材
3	割れ、膨れ及び剥がれは認められなかった	1.3	下地調整塗材
平均		1.3	

- ⑪ 仕上げ材がセラミックタイルの場合の耐久性試験  
仕上げ材がセラミックタイルの場合の耐久性試験の結果を表-14に示す。

表-14. 仕上げ材がセラミックタイルの場合の耐久性試験結果

	付着強さ (N/mm <sup>2</sup> )	破断位置
1	2.4	張付モルタル:57、下地調整塗材:43
2	2.4	張付モルタル:57、下地調整塗材:43
3	2.7	下地調整塗材
平均	2.5	

## 6. 試験結果一覧表

試験結果一覧表を表-15に示す。

表-15. 試験結果一覧表

試験項目		試験結果	品質基準 (JIS A 6916:2014) CM-2	品質基準値に 対する適・不適
軟度変化 (%)		-1.7	-20~20	適
耐ひび割れ性		ひびわれの発生は認められなかった	ひび割れない	適
耐衝撃性		ひびわれ及び剥がれの発生は認められなかった	ひび割れ及び剥がれない	適
曲げ強さ (N/mm <sup>2</sup> )		7.1	5.0 以上	適
圧縮強さ (N/mm <sup>2</sup> )		21.2	10.0 以上	適
付着強さ (N/mm <sup>2</sup> )	標準養生時	1.6	1.0 以上	適
	低温養生時	1.4	0.7 以上	適
吸水量 (g)		0.7	2.0 以下	適
透水量 (mL/h)		0.0	0.5 以下	適
長さ変化 (%)		-0.13	0~-0.15	適
仕上材が 複層仕上塗材 の場合の 耐久性	表面状態	割れ、膨れ及び剥がれは認められなかった	割れ、膨れ及び剥がれない	適
	付着強さ (N/mm <sup>2</sup> )	1.3	1.0 以上	
	破断位置	下地調整塗材	仕上塗材だけで破断した場合は付着強さは0.7以上	
仕上材がセラミックタイルの場合の耐久性 (N/mm <sup>2</sup> )		2.2	0.6 以上	適

\*本試験結果は、弊社 品質保証グループにより行った結果であり、製品の代表値ではありません。

以上